

平成29年（2017）10月 入域観光客数概況

10月の観光客数は、79万9,300人
対前年（H28）同月比 +3万1,400人、+4.1%
～10月の過去最高更新、各月の過去最高を48ヶ月連続更新～

入域状況

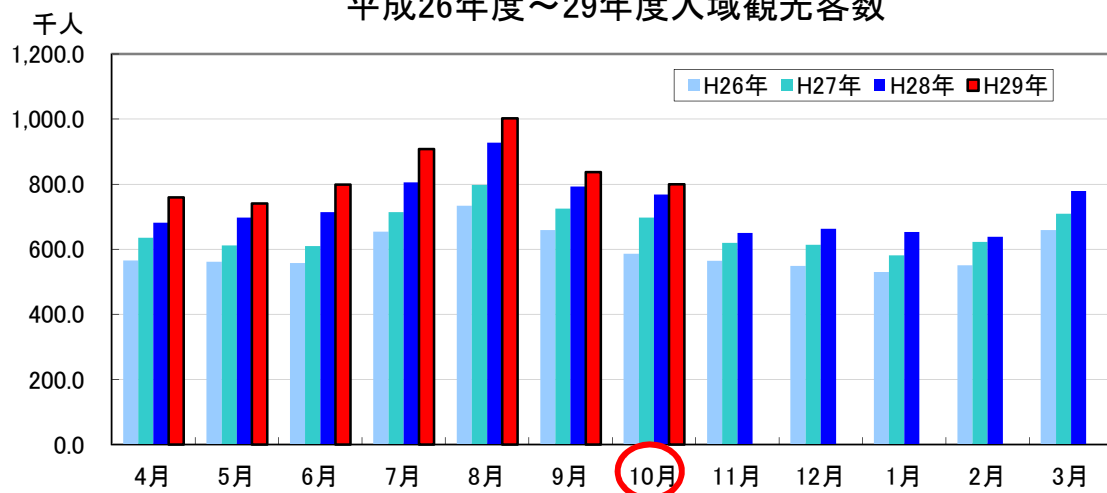
入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	570,100 人	573,200 人	△ 3,100人	△ 0.5%	71.3%
外国客	229,200 人	194,700 人	+ 34,500人	+ 17.7%	28.7%
合計	799,300 人	767,900 人	+ 31,400人	+ 4.1%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	570,100 人	573,200 人	△ 3,100人	△ 0.5%	74.0%
外国客	200,500 人	171,100 人	+ 29,400人	+ 17.2%	26.0%
合計	770,600 人	744,300 人	+ 26,300人	+ 3.5%	100.0%

平成26年度～29年度入域観光客数



国内客 入域状況

10月は、修学旅行の取扱いが増加したことや離島直行便の実績が良好であったものの、台風（第21号、第22号）の影響で欠航便や旅行のキャンセルが多数発生したことにより、前年をやや下回った。

11月は、連休の日並びが良いことで、航空会社では先行割引航空券を中心に予約状況が良好なことや、旅行会社では個人・団体共に予約状況が増加の傾向が見られること等から、好調に推移する見込み。

外国客 入域状況

10月は、台風の影響でクルーズ船の欠航があったものの、大型連休絡みで航空会社によるチャーター便の就航があったことや、今年最大の大型クルーズ船（16万8千トン）が2度寄港したこと等から前年を上回った。

11月は、ジェットスター・アジア航空によるシンガポール直行便の就航など航空路線の拡充があることや、クルーズ船の寄港回数について増加が予定されていること等から、好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	287,100 人	292,000 人	△ 4,900人	△ 1.7%	50.4%
関西方面	108,300 人	110,500 人	△ 2,200人	△ 2.0%	19.0%
福岡方面	72,200 人	70,100 人	+ 2,100人	+ 3.0%	12.7%
名古屋	46,500 人	46,700 人	△ 200人	△ 0.4%	8.2%
その他	56,000 人	53,900 人	+ 2,100人	+ 3.9%	9.8%
合計	570,100 人	573,200 人	△ 3,100人	△ 0.5%	100.0%

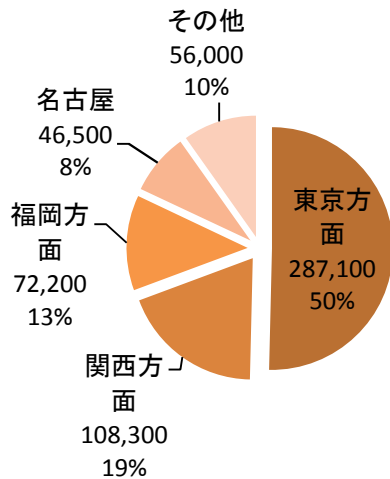
※国内海路客3,100人を含む(鹿児島2,500人、その他600人)

外国客 国籍別入域状況

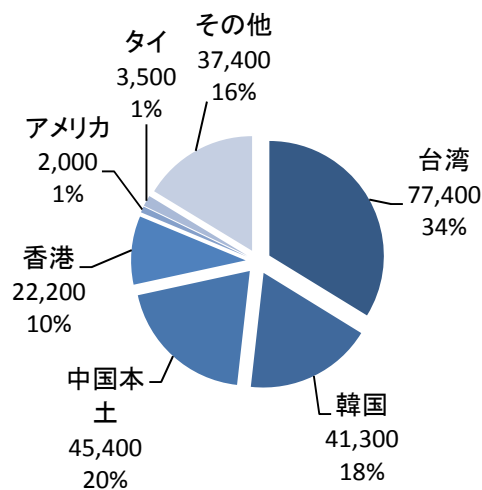
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H29年度	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	77,400 人	77,400 人	61,300 人	+ 16,100人	+26.3%	33.8%
韓国	41,300 人	41,300 人	37,400 人	+ 3,900人	+10.4%	18.0%
中国本土	45,400 人	45,400 人	38,000 人	+ 7,400人	+19.5%	19.8%
香港	22,200 人	22,200 人	17,000 人	+ 5,200人	+30.6%	9.7%
アメリカ	2,000 人	2,000 人	3,500 人	△ 1,500人	△42.9%	0.9%
タイ	3,500 人	3,500 人	800 人	+ 2,700人	+337.5%	1.5%
その他	37,400 人	8,700 人	36,700 人	+ 700人	+1.9%	16.3%
合計	229,200 人	200,500 人	194,700 人	+ 34,500人	+17.7%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	53,200 人	53,200 人	+22.3%	37.7%	24,200 人	24,200 人	+36.0%	27.5%
韓国	41,200 人	41,200 人	+11.1%	29.2%	100 人	100 人	△66.7%	0.1%
中国本土	19,300 人	19,300 人	△3.0%	13.7%	26,100 人	26,100 人	+44.2%	29.6%
香港	16,900 人	16,900 人	+15.0%	12.0%	5,300 人	5,300 人	+130.4%	6.0%
アメリカ	1,600 人	1,600 人	△33.3%	1.1%	400 人	400 人	△63.6%	0.5%
タイ	3,300 人	3,300 人	+725.0%	2.3%	200 人	200 人	△50.0%	0.2%
その他	5,600 人	5,600 人	+0.0%	4.0%	31,800 人	3,100 人	+2.3%	36.1%
合計	141,100 人	141,100 人	+14.2%	100.0%	88,100 人	59,400 人	+23.9%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

10月は、航空会社、旅行会社とも予約段階では前年を超える状況であったものの、台風の影響でキャンセルが多数発生し、前年を下回った。
11月は、航空会社による先行割引航空券の予約状況が良好なことや、連休の日並びが良いことで各旅行会社の予約状況も前年を超える勢いが見られること等から好調に推移する見込み。

大阪

10月は、修学旅行や一般団体について例年以上の取扱実績が見られたものの、台風の影響によりキャンセルが多数発生し、前年を下回った。
11月は、航空会社の予約状況が良好なことや、旅行会社の予約状況についても連休期間を中心に良好に推移していること等から、好調に推移する見込み。

福岡

10月は、修学旅行や先行割引航空券の取扱いが数多くあったことから、台風の影響でキャンセルが多数発生したものの、前年を上回った。
11月は、引き続き航空会社の先行割引航空券などの予約状況が良好であるほか、スポーツ大会や企業のインセンティブツアーの取扱いも数多く見られること等から好調に推移する見込み。

名古屋

10月は、離島直行便やソラシドエアの輸送実績が高かったものの、台風の影響でキャンセルが多数発生し、前年をやや下回った。
11月は、先行割引航空券を中心に航空会社の予約状況が良好なことや、旅行会社の予約状況についても個人・団体共に良好なこと等から好調に推移する見込み。

台湾

10月は、大型連休絡みで臨時便が運航されたことや、クルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。
11月は、中華航空の高雄－那覇路線で機材を大型化することや、クルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から好調に推移する見込み。

韓国

10月は、大型連休に絡んだチェジュ航空の増便等航空路線の拡充があったことや、旅行会社のチャーター便が運航されたこと等から、前年を上回った。
11月は、紅葉の季節で他方面との競合が懸念されるものの、温暖な気候をテーマに自転車やゴルフ等で旅行需要の増加が見込まれること等から好調に推移する見込み。

中国本土・北京

10月は、国慶節絡みの大型連休で旅行需要が増加したことや、航空会社の予約状況が前年同月並みにあったこと等から、前年を上回った。
11月は、中国東方航空による西安－那覇路線の運航休止があるものの、料金が低いピーク時期を避けた個人旅行客(FIT)の需要が増加していること等から、好調に推移する見込み。

中国本土・上海

10月は、国慶節絡みの大型連休で旅行需要が増加したことや、前年同月と比べてクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。
11月は、個人旅行客(FIT)の需要が一定程度見込めることや、クルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

香港

10月は、香港エクスプレスの香港－石垣路線の増便を含む航空路線の拡充や、大型クルーズ船の寄港等から、前年を上回った。
11月は、ピーチアビエーションによる香港－那覇路線の運航休止があるものの、他の航空会社は前年同月並の路線数が維持されていることに加え、引き続き香港発クルーズ船の寄港予定があること等から堅調に推移する見込み。